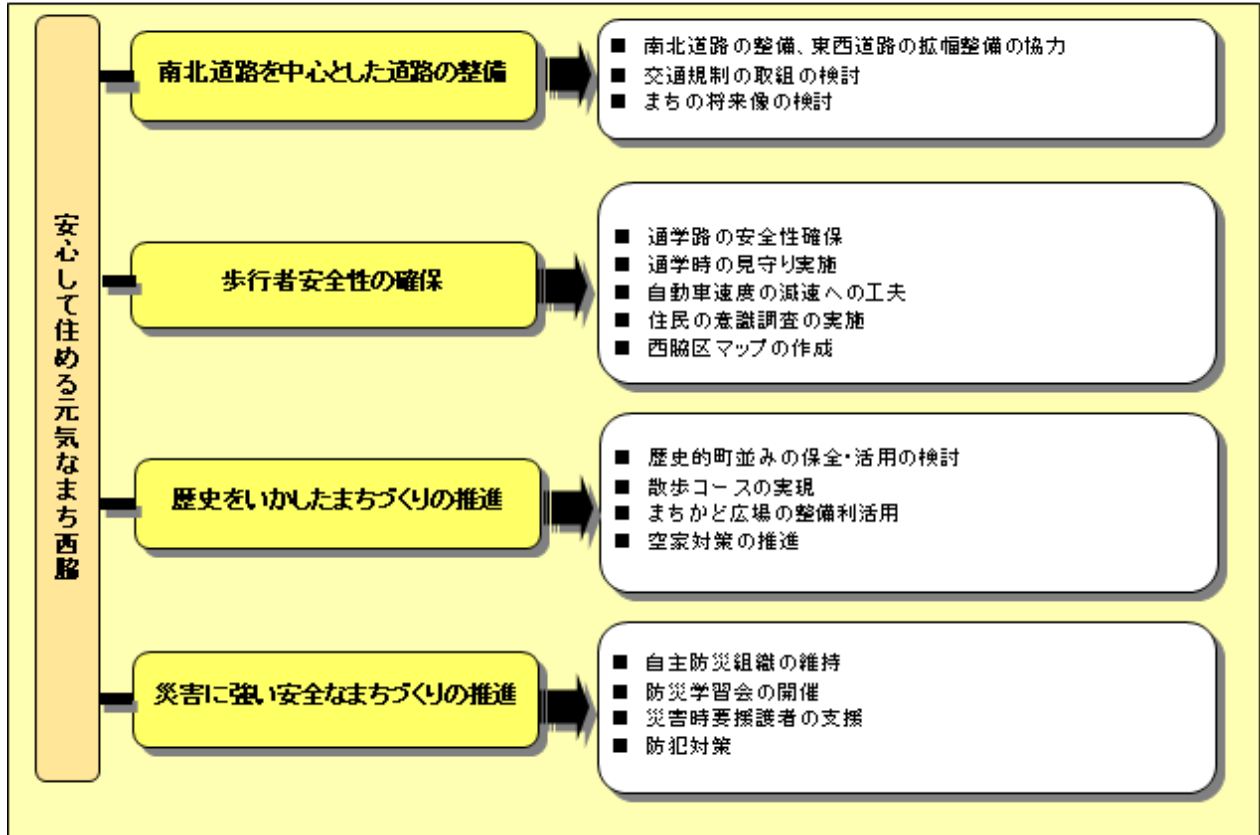




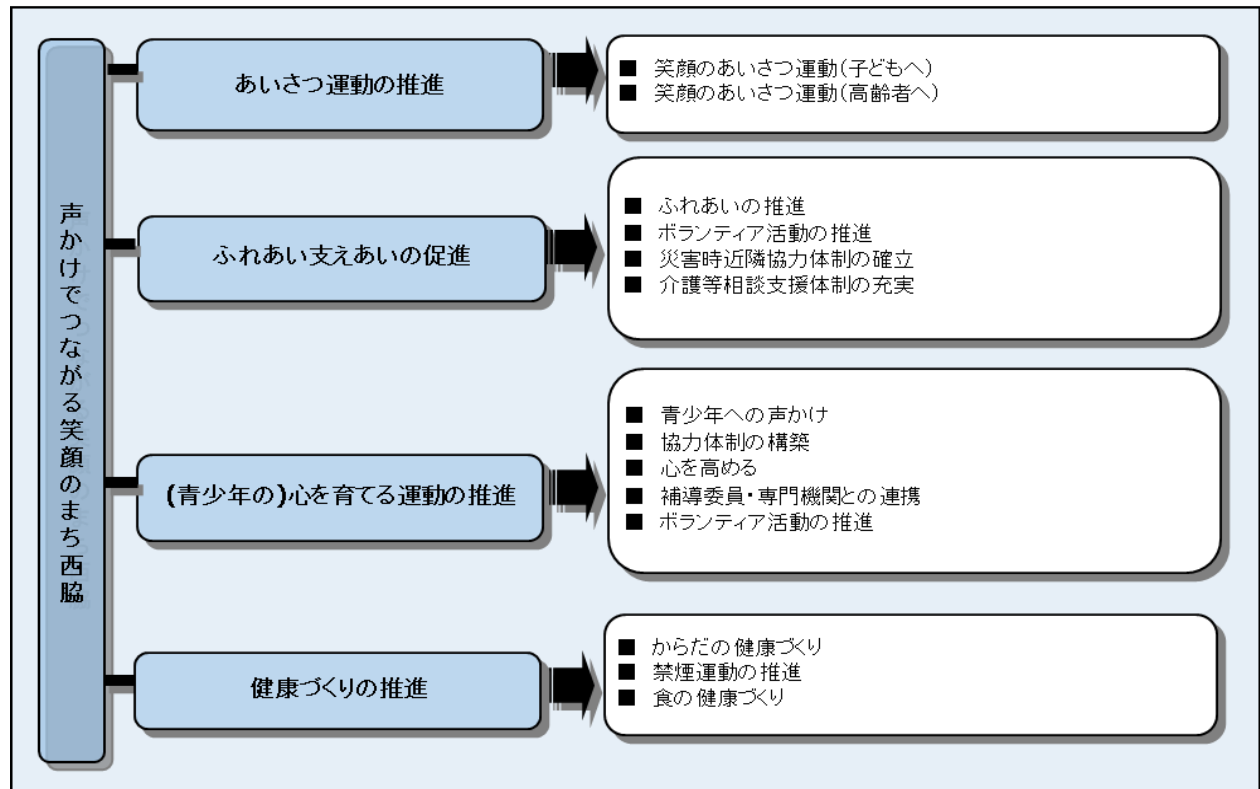
第3章：部会別計画

1. 全体構成

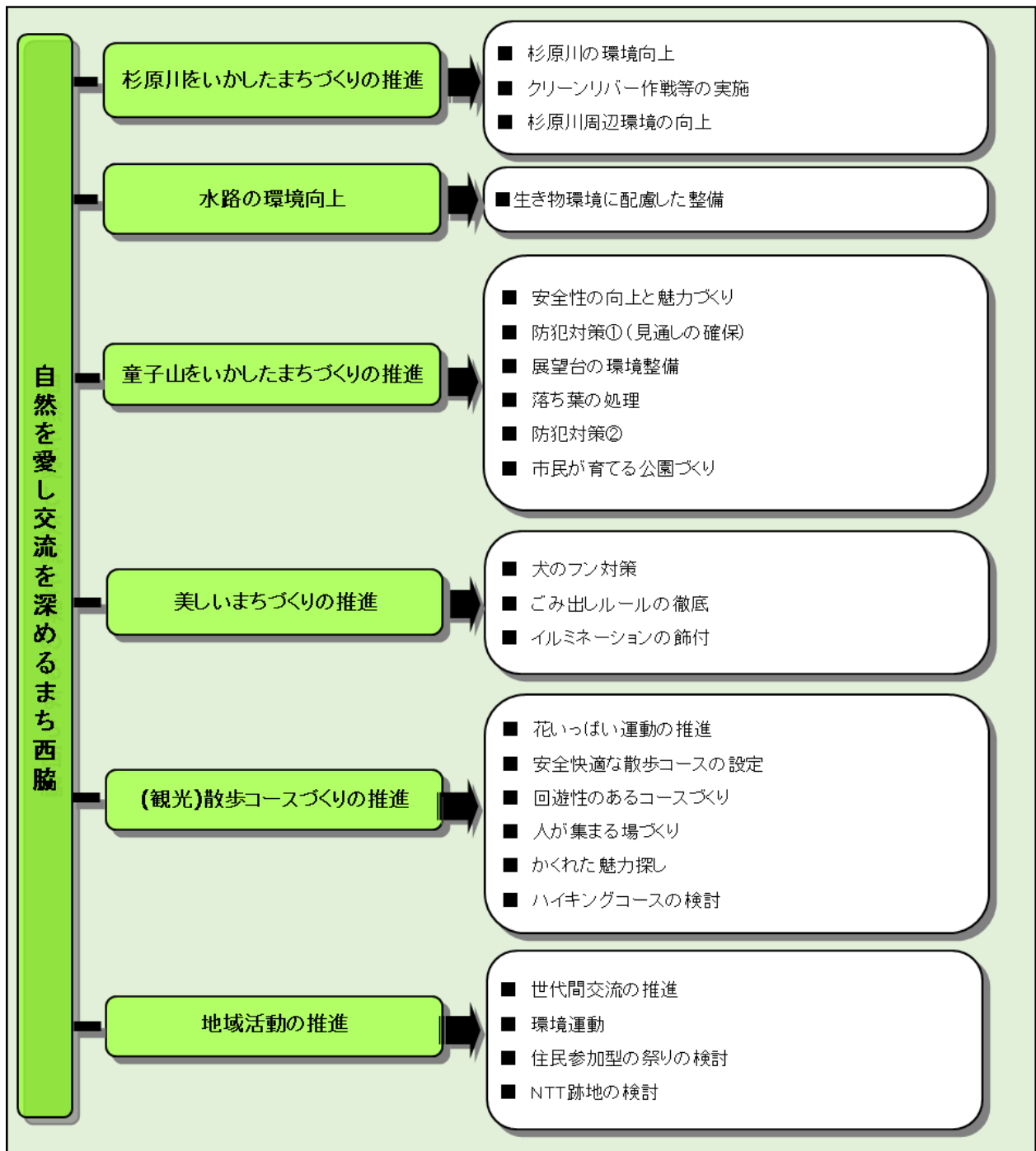
安心・安全部会



福祉・生活部会



環境・交流部会



安全・安心部会

- できている
- ▲ 一部できている
- × できていない

① 南北道路を中心とした道路の整備

		評価	コメント
■ 南北道路の整備、東西道路の拡幅整備の協力	沿道地権者との話し合いを進めます。地権者に対するアンケート調査を実施します。	▲	結論が出ない。通勤車両が多く通る。周辺状況が大分変ってきた（店が減った。空家も増えた。水害の影響大）。
■ 交通規制の取組の検討	モデル的な一方通行や歩行者専用道の実施、道路を試験的に狭くするなど、交通規制の取組を検討します。	×	—
■ まちの将来像の検討	道路だけでなく、まちの将来像を考えます。	—	—

② 歩行者安全性の確保

		評価	コメント
■ 通学路の安全性確保	通学路の安全性確保のため、関係者で点検を行ないます（各子供会において春休み中に通学路を歩くなど）。	●	小学校夏休み前点検、治ったところあり。
■ 通学時の見守り実施	小学校登校下校時に見守りを実施します。	—	—
■ 自動車速度の減速への工夫	自動車のスピードを落とす工夫をします（白線変更、道路標識など）。	▲	南北道路両側グリーン線の線が引かれた。
■ 住民の意識調査の実施	歩行者安全性の確保のため、沿道住民の意識調査を実施します。	×	—
■ 西脇区マップの作成	危険個所だけでなく、歴史的資源や安全な路地などもあわせて西脇区のマップを作成します。	▲	TMOでマップ作成。例：散歩コース

③ 歴史をいかしたまちづくりの推進

		評価	コメント
■ 歴史的町並みの保全・活用の検討	歴史的な雰囲気づくりのある地区整備の必要性についてNPOの人たちと一緒に学び、例えば「レトロ」な整備やルートのあり方を検討します。	▲	まち歩きも実施。
■ 散歩コースの実現	やすらぎの道と川の歩道をつなぐ散歩コースの実現にむけて検討します（田園空間博物館構想とも協力）。	×	やすらぎの道に高齢者の散歩コース。高校生も通る。
■ まちかど広場の整備利活用	まちかど広場の利活用を進めます。	▲	コミセン広場がグラウンドゴルフ（NTT跡）。東西線の準備。
■ 空家対策の推進	増えている空家の現状把握を行ない、今後のあり方を検討します。	—	—

④ 災害に強い安全なまちづくりの推進

		評価	コメント
■ 自主防災組織の維持	自主防災組織を各町ごとに維持します。防災訓練を実施します。	●	・防災訓練は町ごとに実施。
■ 防災学習会の開催	防災についての学習会（家具の転倒防止など）を実施し、火の用心などの活動をします。	×	・年末の火の用心はあり（消防団）。
■ 災害時要援護者の支援	災害時要援護者を把握し、その支援の体制をつくります。	—	—
■ 防犯対策	街灯の増設を要望します。日常的な火の用心や声かけなどを実施します。	▲	・防犯カメラ効果あり（駐輪場）。 ・空家が多い。

- 今後進める
- ▲ 一部進める
- × 進めない

今後	具体的取組	時 期			主 体			備 考
		短期	中期	長期	住民	協働	行政	
●	・ 市民・行政が協力して沿道地権者同士で話し合う。 ・ 緑のラインの拡充。 ・ 地権者アンケートの実施。	●				●		・ 陳情書提出済み（東西道路優先だが、南北道路も大切）。市民・行政が情報共有を進める。防災面からの検討も実施。 ・ 地権者の声を聞く。
●	・ 道路危険個所の点検 ・ アンケート結果をもとに話し合い。		●			●		
●	・ 道路沿道だけでなく、まちの将来像を考える検討。		●		●			

今後	具体的取組	時 期			主 体			備 考
		短期	中期	長期	住民	協働	行政	
●	・ 学校やPTAと地域で協力して点検。	●			●			
●	・ 現在実施している見守り活動を継続。	●			●			
●	・ 危ない道路の点検を行ない、必要箇所を工夫。		●			●		
●	・ 道路整備を中心として、まちの将来を考える意識調査を実施。		●			●		道路内電柱のあり方など、総合的な安全確保のための意識調査を検討。
●	・ 平成26年度作成予定。	●				●		

今後	具体的取組	時 期			主 体			備 考
		短期	中期	長期	住民	協働	行政	
●	・ 歴史的町並みや建築物の調査を行ない、今後の利活用を検討。		●			●		・ 西脇小学校のあり方について協力。 ・ 記念碑の現代訳も必要か。
●	・ 道路整備と併せた散歩コース実現のための検討を実施。			●		●		
●	・ 広場の美化、休憩コーナーの整備。 ・ 中本町のエノキの保全について検討。	●				●		
●	・ 空家とその所有者の把握を実施。			●		●		・ 西脇区老朽住宅調査中。

今後	具体的取組	時 期			主 体			備 考
		短期	中期	長期	住民	協働	行政	
●	・ 年1回西脇区で震災対策も念頭に置いて防災訓練を実施。 ・ 企業との協定を進める（コンビニ、建設業、医院など）。	●			●			・ 水害のイメージが大きいですが、今後は震災対策を強化する。
●	・ 学校と一緒に防災学習会など実施。		●			●		・ 耐震診断無料。耐震補強半額補助あり（補助額100万円まで）。
●	・ 町会ごとに要援護者の名簿作成。取り組み検討。	●			●			
●	・ 日常の井戸端会議を心がける。 ・ 防犯カメラ設置を検討。	●				●		・ 市役所が青色パトロール実施。 ・ 交番は野村署の管轄。

福祉・生活部会 1

- できている
- ▲ 一部できている
- × できていない

⑤ あいさつ運動の推進

		評価
		コメント
■ 笑顔のあいさつ運動の推進	校区の通学路の道すじの大人からまず子どもへのあいさつをします。	● ・ 継続して進める ・ 中・高校性があいさつを積極的にすることが増えている。
	子ども110番の家の人から声かけをするよう呼びかけます(通学時間に溝そうじをしてもらうなど、ふれあう時間を合わせます)	● ・ 子ども110番のおうちがどんどん変わっていく。110番でも鍵をかけているところがある。PTAが毎年お願いする。
	あいさつが返ってこなくても、あきらめず声をかけます。	● ・ あいさつ運動が浸透しているのを感じる。
	ポスター・看板づくり、チラシの作成・配布をします。	● ・ 毎年ポスターを書いている。夏休み宿題。コミセンまつり展示→各町の掲示板へ。
■ 笑顔のあいさつ運動(高齢者へ)	独居老人宅の訪問や声かけなど、民生委員、老人会などとの協力のもと、ひとり暮らしのお年寄りとのかわりを強めます。	● ・ 1日中話す相手が無い人もいる。お弁当の配達時に声をかけている。かまってもほしくない老人もいる。隣保つきあいが無い。老人会にも入らない。 ・ 老人会に入らない人増えている。役員になりたくない。10町中4町が連合ぬけている。
	いざというとき助け合える人間関係をつくります。	▲ ・ 近隣協力体制できている町できていない町。体制は毎年見直している。必要に応じて。

⑥ ふれあい支えあいの促進

		新規項目
■ ふれあいの推進	顔の見える関係づくりを築いていくため、あいさつ運動や声掛け訪問を勧めます。民生委員、老人会などとの協力のもと、ひとり暮らしのお年寄り等とのかわりを強めます。いざというとき助け合える人間関係をつくります。	— ・ 高齢者を民生委員だけで支えている実情に無理がある。
■ ボランティア活動の推進	地域における支えあいの大切さについて関心や理解を高め、近所同士の身近な支えあいを実行するため、ボランティア活動を推進します。	—
■ 災害時近隣協力体制の確立	災害時の緊急に備え、避難場所等の情報収集や身を守るために必要な知識を学びます。地域の要援護者について把握し、その人が必要とする援護の内容について、個人情報に配慮しつつ援護する「災害時近隣協力体制」を確立します。	— ・ 若者が少なく、高齢者が高齢者を援護しなければいけない状況 ・ 個人情報の公開が難しく、うまく情報を共有できずに支障をきたしている ・ 民生委員と町内会のパイプが弱い。
■ 介護等相談支援体制の充実	生活をするうえで困ったことがあれば、気軽に相談窓口を利用することを地域で推奨します。相談支援について対応できる、ネットワークづくりを進めます。多くの人たちが介護について学ぶ機会をつくります。地区としての方針を決め、活動は町単位で行います。	—

- 今後進める
- ▲ 一部進める
- × 進めない

今後	具体的取組	時 期			主 体			備 考
		短期	中期	長期	住民	協働	行政	
●	・子どもの登下校時に外に出て積極的なあいさつをする。	●	●	●	●			・通学路声かけはすでにできている。 ・PTAが中心。
▲	・新学期の更新時に110番の家を再確認し「鍵は開けておいて！」など呼びかけをする。	●	●	●	●			
●	・声掛けやあいさつ運動は犯罪の抑止力になるため定期的に戻覧板（年4回）等で呼びかける。	●	●	●	●			
●	継続	●			●			
●	・向こう3軒両隣の方の毎日の行動に気をつける。 ・チェックリストの作成（チラシ） ・新聞はたまっていませんか。 ・回覧板はポストに入れない。	●			●			・隣保町の役割を活用。
●	・同上（災害時）	●			●			・消防団等との協力。

今後	具体的取組	時 期			主 体			備 考
		短期	中期	長期	住民	協働	行政	
●	・日頃から近所づきあいの大切さを話し合う。 ・給食サービスの配達や回覧板を届けるとき、できるだけ声をかけ安否を確認する。 ・民生委員や老人会とのネットワークをつくり、見守りや声掛けの活動に協力する。	●			●			
●	・社会福祉協議会主催のボランティア体験などに参加する。 ・「いきいきふれ愛まつり」に参加し、情報を得る。 ・ボランティア講座の実施 ・ボランティア活動を紹介するパンフレットなどを作成し、関心を高める。	○	●		●			・中期的にボランティアへの関心が高まることを期待し、まちづくり委員会ではこれを目標に、パンフ作成等を進めていく。 ・まちづくり委員会のPRが必要。
●	・近隣協力体制をすべての町で確立する。 ・民生委員が管理している要援護者名簿を、個人情報に配慮しつつ、可能な範囲で町内会役員と共有する体制をつくる。 ・近隣協力体制がある町は必要に応じて随時見直しをかける。 ・災害の早い段階でセンティア西脇を避難所として開設できるよう協力する。	●			●			・KEY：自主防災組織 ・梅雨時までに各町ごとに考えてもらえるようまちづくり委員会で伝える。 ・市からセンティアを避難所と言えない。 ・区の放送ではセンティア。 現在の避難所を全員に周知する必要がある。
●	・学習会や市役所の出前講座を利用して介護支援の制度について学ぶ機会をつくる。（いきいきサロンなどで） ・民生委員、社会福祉協議会、ボランティア等と連携し相談窓口などを紹介するなど支援体制のネットワークをつくる。 ・相談窓口について、いきいきサロンなどを通じて紹介する。 ・地区にある民間の福祉サービス事業所と連携し、相談窓口の情報を発信する。	●			●			・いきいきサロンが全町にある。 ・開催場所 →コミセン →カラオケ →食事会 →いきいきサロン 色々な機会を活用。 ・チラシ配布。既存の団体の活動に取り入れてもらう。

福祉・生活部会 2

- できている
- ▲ 一部できている
- × できていない

⑦ (青少年の)心を育てる運動の推進

		評価
		コメント
■ 青少年への声かけ	知った子から青少年に声をかけます。	● 積極的にあいさつできる子が増えてきた。
■ 協力体制の構築	周りの人と協力しあえる人間関係をつくります。	▲ ・もうすこし項目の細分化が必要では。 ・青少年に限定する必要はなく、今後は全般的なこととなる。 ・学童保育など、子どもの帰宅時間がまちまちで見守り隊が機能を発揮できない。
■ 心を高める	心を高めるために話を聞いたり体験したりする場を設定します。	×
■ 補導委員・専門機関との連携	補導委員さんとの親密な関係をつくります。青少年センターや児童相談員さんなど専門機関との連携を図ります。	× ・委員会の報告が地区に下りて来ない。情報の共有が必要。 ・防災ネットの情報西脇市は少ない。
■ ボランティア活動の推進	青少年の頃から、地域への貢献意識を醸成し、まちづくりを担える人材を育成します。	— ・学校が小中学生のボランティア参加を募集している。 ・市は小中学生の社会参加・貢献を勧めている。

⑧ 健康づくりの推進

		新規項目
■ からだの健康づくり	健康な体で過ごすために、健康意識の高揚に地区で取り組みます。区民一人ひとりが取り組める健康づくり運動をまちづくりに取り入れます。	— ・まちぐるみ検診の受診率が低い。
■ 禁煙運動の推進	公共の場から禁煙運動を進めます。	— ・コミセンが分煙されていない。 ・日本の禁煙意識が低い。 ・公共施設はすべて分煙を徹底している。 ・情報発信の強化が必要。
■ 食の健康づくり	地産地消や食育をまちづくりに取り入れ、食の大切さを理解し、食生活改善などに役立てます。	— ・まつりで煮しめがつかれない人が増えている。 ・川下神社の祭りの日にたこを食べる風習がある。

- 今後進める
- ▲ 一部進める
- × 進めない

今後	具体的取組	時 期			主 体			備 考
		短期	中期	長期	住民	協働	行政	
●	継続	●	●	●	●			・不審者と間違われる可能性があり、声をかけづらい。
●	・運動会など、地区の行事で近隣の人達とコミュニケーションがとれるよう積極的な参加を促す。 ・「子ども見守り隊」と協力し地域の青少年を犯罪から守る。		●		●			
●	・地域の語り部、知識や知恵のある人材を講師に話を聞く。	●			●			
●	・補導委員とまちづくり委員会との連携を密にし、情報を共有します。 ・防災ネットの情報を広げるようPRします。	●			●			・たまり場の情報等。 ・携帯電話からの犯罪 ・豊川の水辺公園安心して使える方法はないか。
●	・教育委員会の地域貢献事業と連携し、まちづくり活動や自治会活動に青少年が参加するしくみをつくります。 ・小中高の連携。教育委員会・学校と地域の連携。	●			●	●		・たまり場の情報等。 ・けいたい電話からの犯罪 ・高校生（特に北高）のボランティアが盛ん。助かっている。 ・黒田庄の小中学生はすごい。

今後	具体的取組	時 期			主 体			備 考
		短期	中期	長期	住民	協働	行政	
●	・町内会で誰もがができるラジオ体操を実施（年間通して継続する。） ・健康体操、ヨガ、気功などの教室を開催 ・学習会や市役所の出前講座を利用して健康づくりの意識を高めます。		●			●		・色々活用していく。
●	・地域において、禁煙や分煙に努めます。 ・青少年の前では、たばこを吸わない、をみんなで徹底します。 ・まずコミセンから？	●			●			・しようと思えばすぐできる。
●	・行事食（祭り、正月）や郷土食（地域の特色）などについて講習会を開き楽しむ機会を設ける。 ・食にまつわるいわれや風習などについて学ぶ。 ・男の料理教室でもおせち料理や煮しめなどを学ぶ。 ・西脇区のB級グルメをつくる。←もっと市全域で。		●		●			・平日の午前～昼は集まりがさびしい。 ・コミセン祭りでグルメコンテストを開催、区から賞金も出ず（地元の食材：サバ寿司、イカナゴの釘煮）



環境・交流部会 1

- できている
- ▲ 一部できている
- × できていない

⑨ 杉原川をいかしたまちづくりの推進

		評価
		コメント
■ 杉原川 の 環境 向上	杉原川本体の環境の向上や、例えば水遊びができるような流れのあり方などについて、関係機関と協議します。(草を流さないなど)。	● —
■ クリーンリバー作戦等の実施	地域や学校、運動団体などと協調して水質浄化や、クリーン作戦、水生生物調査や里山管理の活動などを進めます。また、それにより高齢者と子どもの交流の機会を増やします。	● ・精霊流しとどんど焼きができた。 ・ラジオ体操。
■ 杉原川 周辺 環境 の 向上	杉原川周辺について、豊川町水辺公園のあり方(美化、ベンチ、ブランコ、豊川橋のあり方：イルミネーション、交番設置、サイレン、タイマー付照明)などの検討をします。	▲ ・トイレの管理が不十分 ・夜間のたまり場になることがある

⑩ 水路の環境向上

		評価
		コメント
■ 生き物環境に配慮した整備	水路沿いの遊歩道や水車など景観に配慮したり、生き物環境に配慮した整備を進めます。(水車の試作品作製)	▲ ・生物に配慮した水門の管理ができていない。

⑪ 童子山をいかしたまちづくりの推進

		評価
		コメント
■ 安全性の向上と魅力づくり	既存樹木の伐採のあり方などについて、広く意見を集めて対策を立てていきます。(ドングリ拾いをしている木やイチヨウの伐採などについて)	▲ ・街路樹の選定に関して市民の意見もとり入れて欲しい。
■ 防犯対策①(見通しの確保)	周辺の建物で活動している人からよく見通せるように、見通しの確保を進めます。	▲ —
■ 展望台の環境整備	展望台周辺の木を伐採し、見通しの確保を検討します。	▲ —
■ 落ち葉の処理	剪定枝(せんでいし)や落ち葉の処理について、今の対策を継続します。	● —
■ 防犯対策②	街灯の充実、監視カメラなど、効果的な対策を検討します。	▲ —
■ 市民が育てる公園づくり	個人の名札つきの樹木を植えるなど、市民が育てる公園づくりを検討します。	▲ —

※ 童子山をいかしたまちづくりについては、配水池の跡地利用を含めて総合的な計画を立てる必要がある。

⑫ 美しいまちづくりの推進

		評価
		コメント
■ 犬のフン対策	ワンワンパトロールを実施し、犬のフン対策やまちの美化、防犯に努めます。	▲ —
■ ごみ出しルールの徹底	ごみ出しルールの徹底のため、マナー向上につながる対策を検討し、試験的に実施します。	● —
■ イルミネーションの飾付	イルミネーションの飾付をします。	● 区民の親睦や交流を深めることができたとともに、多くの人にイルミネーションを見て楽しんでいただけた。

- 今後進める
- ▲ 一部進める
- × 進めない

今後	具体的取組	時 期			主 体			備 考
		短期	中期	長期	住民	協働	行政	
●	・これまでと同様維持管理の推進（草刈あとの草の処理）。	●				●		
●	・クリーンリバー。水生生物調査。 ・河川敷を健康ウォーキングコースとして整備する。（距離表示の設置）	●			●			・対岸に渡れるような設備を設ける。 ・誰でも河川敷に気軽にに行けるような仕掛けづくりを行う。
▲	・環境美化に努める。（テーブル整備、ゴミ拾い、花植え） ・公園を憩いの場として活用し、散歩コースに取り入れる。	●				●		・公園としてプラスの面を引き出す

今後	具体的取組	時 期			主 体			備 考
		短期	中期	長期	住民	協働	行政	
●	旧来住家住宅上流やレントン通り付近の水路に水車を設置し、小水力発電等により環境啓発に活用する。	●				●		

今後	具体的取組	時 期			主 体			備 考
		短期	中期	長期	住民	協働	行政	
●	・配水池の跡地利用を検討する！！童子山利用の新しい課題について検討する。	●				●		
●	・必要に応じて樹木を伐採し、見通し良くする。	●				●		
●	・ボイスタワーのあり方について検討する。	●				●		・配水池の跡地利用と一緒に考えていく。
●	・今の対策を継続する。	●			●			
●			●				●	
●	・関わる人を増やしていく。	●				●		

今後	具体的取組	時 期			主 体			備 考
		短期	中期	長期	住民	協働	行政	
●	・ワンワンパトロールの実施 ーリードにパトロールのタグを付け、朝夕の散歩の際、まちの美化と防犯のために地域を回る。（犬のフン対策にもつながる。）	●			●			
●	・ゴミ分別の徹底を呼びかける。	●			●			
●	引続き継続する。	●			●			

環境・交流部会 2

- できている
- ▲ 一部できている
- × できていない

⑬ (観光) 散歩コースづくりの推進

		評価	
		コメント	
■ 花いっぱい運動の推進	散歩コースやまちかどなどに花を植え、心の安らぐまちづくりをします。	●	—
■ 安全快適な散歩コースの設定	地域を歩く取り組みを行い、安全快適な散歩コースを設定します。	▲	—
■ 回遊性のあるコースづくり	回遊性のあるコースづくりのため必要な事業を進めます(道の設定、小さくても憩いのある場所、街灯の設置、看板づくりなど)。	●	—
■ 人が集まる場づくり	来訪者が快適に地区を巡る観光コースづくりを進めます(場所の選定、空き家の修復活用、ベンチ設置のための権利者への話し合い、まちかどギャラリーづくりなど)。	×	—
■ かくれた魅力探し	かくれた魅力マップづくりのため、まちを巡って良い場所を探し、写真でコンペを行なうなどの取組を進めます。	×	—
■ ハイキングコースの検討(追加)	入り口がわかりにくい、寺山のハイキングコースのあり方を検討します(日野地区、津万地区との協議)。	×	—

⑭ 地域活動の推進

		評価	
		コメント	
■ 世代間交流の推進	まちづくり活動への参加を幅広い世代に呼びかける	—	—
■ 環境運動	環境運動(学校と地域共同の清掃作業など)を通じて社会奉仕と交流の場としていきます。	—	—
■ 住民参加型の祭りの検討	住民参加型の祭りの検討をします(若者が参加しやすい祭り、フリーマーケット、親子参加など、既存の祭りに工夫を加え、中学生の参加方法なども検討)	—	—
■ N T T 跡地の検討(追加)	N T T 跡地のあり方について検討します。	●	・防災広場。グラウンドゴルフで使用。

- 今後進める
- ▲ 一部進める
- × 進めない

今後	具体的取組	時 期			主 体			備 考
		短期	中期	長期	住民	協働	行政	
●	・地域で花植えを定着させる。 ・地域ごとに植える花を決めるなど、統一感を出す。	●			●			
●	・散歩コースを増やす。 ・地域・行政のそれぞれがすべきことを整理する。(コースの提案は地域、整備は行政など)		●			●		
●	・童子山公園を取り入れた観光コースの設定。		●			●		
●	・空き家の活用		●			●		
●	・まちを巡って良い場所を探し、街の隠れた魅力マップづくりを行う。 →レントン通りのブロンズ像。大塚古墳など		●			●		
●	・西脇市駅やアピカを起点としたトレッキングコースを設定する。 ・駅伝で有名なまち(西脇工業をネタに)であることを生かし、市民も気軽に走ることができるジョギングコースをつくる(JR鍛冶屋線跡)	●			●			

今後	具体的取組	時 期			主 体			備 考
		短期	中期	長期	住民	協働	行政	
●	・まちづくり活動への参加を幅広い世代に呼びかける	●			●			
●	・環境運動(学校と地域共同の清掃作業など)を通じて社会奉仕と交流の場としていく。 ・童子山の間伐についても、様々な団体と連携する。		●			●		・伐採→職員、清掃→区民など役割分担する。
●	・既存のまつりをより一層活性化させるために取り組む。 ・新たにまつりを検討する。		●		●			・新たなまつりの取組例として、西脇市内の太鼓や御輿大集合など。
●	・広場の活用方法について、引き続き検討する。	●			●			

